

## 京都の世界遺産

嵯峨乃やのかわら版では、世界遺産である京都をご紹介します。

### 京都の文化世界遺産シリーズ その7

#### 仁和寺 (にんなじ)

仁和寺は光孝天皇の勅願で886年(仁和2)に建て始められていましたが、同天皇は寺の完成を見ずに翌年崩御。遺志を継いだ宇多天皇によって、888年(仁和4)に落成、「西山御願寺」と称されましたが、やがて年号をとって仁和寺と呼ばれるようになります。宇多天皇が出家後、伽藍の西南に「御室」と呼ばれる僧坊を建てて住んだ為、「御室(仁和寺)御所」との別称があります。その後も皇族や貴族の特別な保護を受け、歴代の門跡(住職)は、江戸時代が終わるまで皇室出身者が務める事となり、門跡寺院の筆頭として仏教各宗を統括していました。(第30世門跡伏見宮純仁法親王の還俗により宮門跡の歴史は幕を閉じました)

室町時代にはやや衰退し、応仁の乱によって伽藍は全焼、それから1世紀半もの間、現仁和寺の南にある双ヶ丘(ならびがおか)にて、僅かに堂舎を構えるのみとなります。寛永年間(1624年-1644年)に入り、徳川幕府により伽藍は復興されました。また、寛永年間の皇居建て替えに伴い、旧皇居の紫宸殿、清涼殿、常御殿などが仁和寺に下賜され、境内に移築される事となりました。

見どころとしては、「御室桜」で有名な古刹。遅咲きの「御室桜」が、古都の桜の見納めとなります。「わたしゃお多福御室の桜 はなは低とも人は好く」と言われるように、樹高は2~3mと低く、地を這う様に咲き乱れ、花卉は大ぶりで厚く、色も濃いのが特長です。その姿から「お多福桜」とも呼ばれ、名勝に指定されています。



嵯峨乃やでは、GETALS (ゲタル) というブランドで、五本指の下駄を開発・製造販売を始めました



足を五本指に開放することで、得られる健康は、外反母趾の矯正、姿勢の矯正、冷え性緩和など、計り知れないものがあります。

この下駄は、意匠登録・商標登録の出願をしています。



着物のクリーニングも承っています。

嵯峨乃や

TEL 0573-28-3171